

中山鋼業株式会社 環境自主行動計画 (H30)

中山鋼業では、環境方針および環境自主行動計画を制定して、環境保全活動に積極的に取り組みます。

平成30年度 環境方針

【基本理念】

中山鋼業株式会社は、鉄スクラップを資源として再利用し、鉄筋棒鋼で再生させることにより、鉄資源のリサイクルの一翼を担っており、省資源・省エネルギーを通じ、社会に貢献する事業活動を行う。

【環境方針】

1. 当社の事業活動・製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、汚染を予防し、環境保護に努め、利害関係者のニーズ及び期待に応える。
2. 環境に関連する法令や条例・協定ならびに、当社が同意するその他の要求事項を順守する。
3. 環境側面に関連する環境パフォーマンスを向上させるため、リスク及び機会、ライフサイクルの視点、順守義務を考慮し、環境マネジメントプログラム(EMP)を設定して評価し、定期的な見直しにより、継続的に改善を行う。
4. エコークライト導入に伴い安定操業による省エネルギーをめざす。

環境自主行動計画

地球温暖化対策への取り組みにおける(一社)日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画(2013年～2020年度)を受け、中山鋼業株式会社は以下の自主行動計画を策定し推進する。

1. 省エネルギー、省資源の推進

2. 目標

年度 : 前年対比 1%／年以上 削減 の省エネルギーを目標とする

中長期 : ①継続して前年対比 1%／年以上 削減 又は、5年度間平均 1%／年以上 削減 の省エネルギーを目標とする。

② 2020年度に 2005年度比 22.5%以上 削減 の省エネルギーを達成させる (ベンチマーク達成を図る)

3. 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の変化状況

	基準年度 (2005年)	平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	5年度間平均 原単位変化
エネルギーの使用に係る原単位(kl/千t)	184.3	169.5	170.4	159.6	156.1	158.6	
対前年度比(%)			100.5%	93.7%	97.8%	101.6%	98.4%
対2005年比(%)		92.0%	92.5%	86.6%	84.7%	86.1%	

・平成29年度は、次世代環境対応型高効率アーク炉(エコークライト)導入の事前工事を実施この間製鋼工場を休止、圧延では冷材ビレットを使用したため、エネルギー原単位が増加し直近の5年度間平均原単位では、年1.6%低減を達成した。

4. ベンチマーク指標

電炉による普通鋼製造業

・目指すべき水準 : 143.0 kl/千t以下

年度及び中長期の省エネルギー目標を達成させ、ベンチマーク達成を図る。

5. 主な対策

- ・省エネルギー設備の導入
- ・高効率設備への更新
- ・オフィス・工場内の省エネルギー、省資源の推進教育
- ・ISO14001(EMS)活動
- ・環境委員会による省エネ活動等の検討・実施状況フォロー